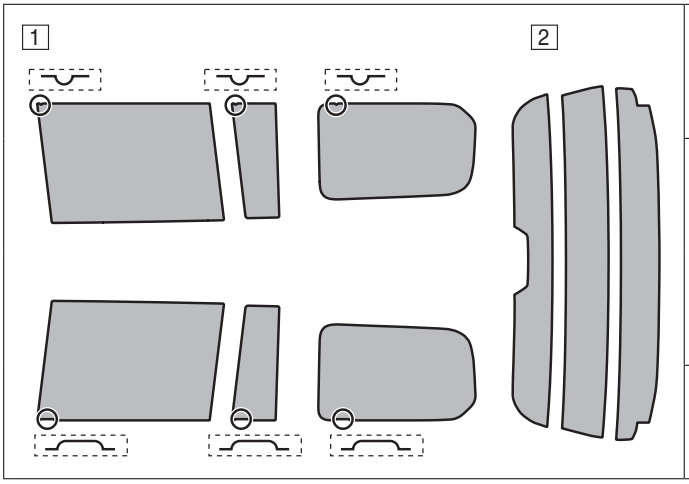
トヨタ純正
IR（赤外線）カットフィルム 取付要領書

このたびはトヨタ純正 **IR(赤外線)カットフィルム**をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は **IR(赤外線)カットフィルム**の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品　番

IR(赤外線)カットフィルム 1台分（スモーク）	08230-52420

構成部品



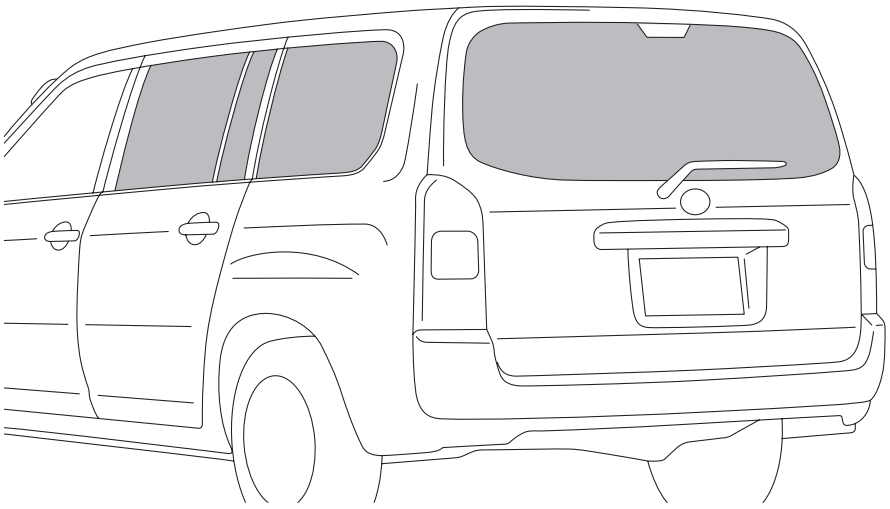
No.	品　名		補給品番	個数
1	リヤドア ウインドウ フィルム (スモーク)	RH	08230-52421	1
		LH	08230-52422	1
2	バックドアウインドウフィルム (スモーク)		08230-52423	1

トヨタ自動車株式会社

取り付けに必要な工具等

・一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤、水道水、スケール、マスカー、マスキングテープ、ビニールテープ、保護テープ、ビニールシート、クリップリムーバー、ペーパータオル等

取付概要



BBFL002F

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

(1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。

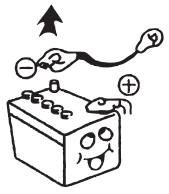
(2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。

(3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。

(4) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS 等のツールが必要な場合があります。

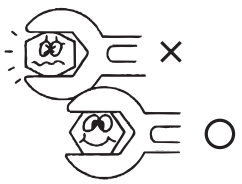
取り付ける前に

●バッテリーの（−）側ケーブルをはずす

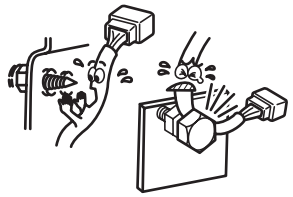


部品の取り付けは

●寸法に合った工具を使う



●裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

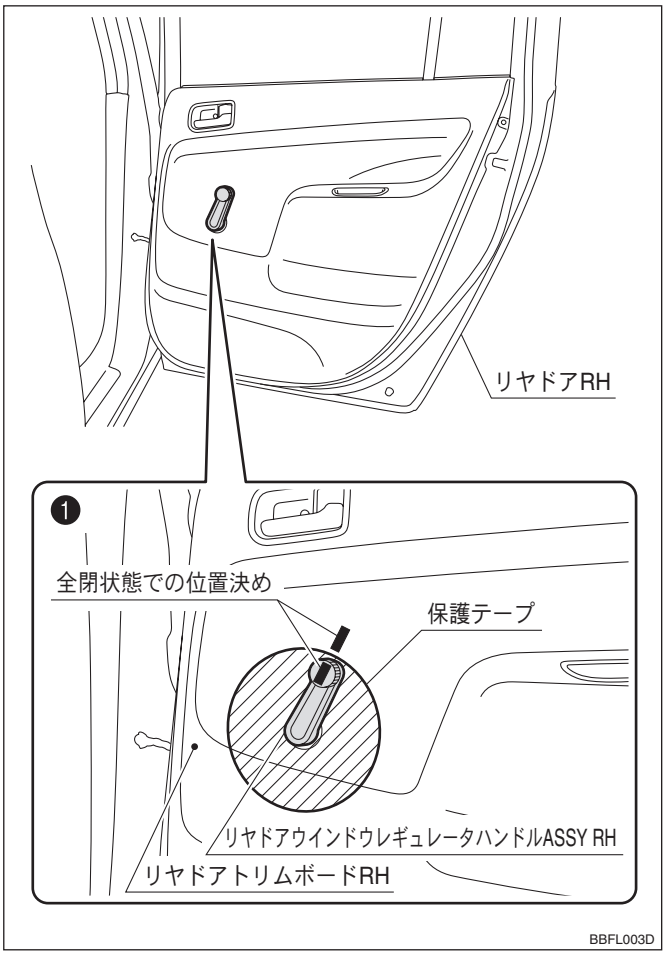
- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をかける
- 風等の無い場所で作業する
- 作業場、作業台を掃除してから作業する

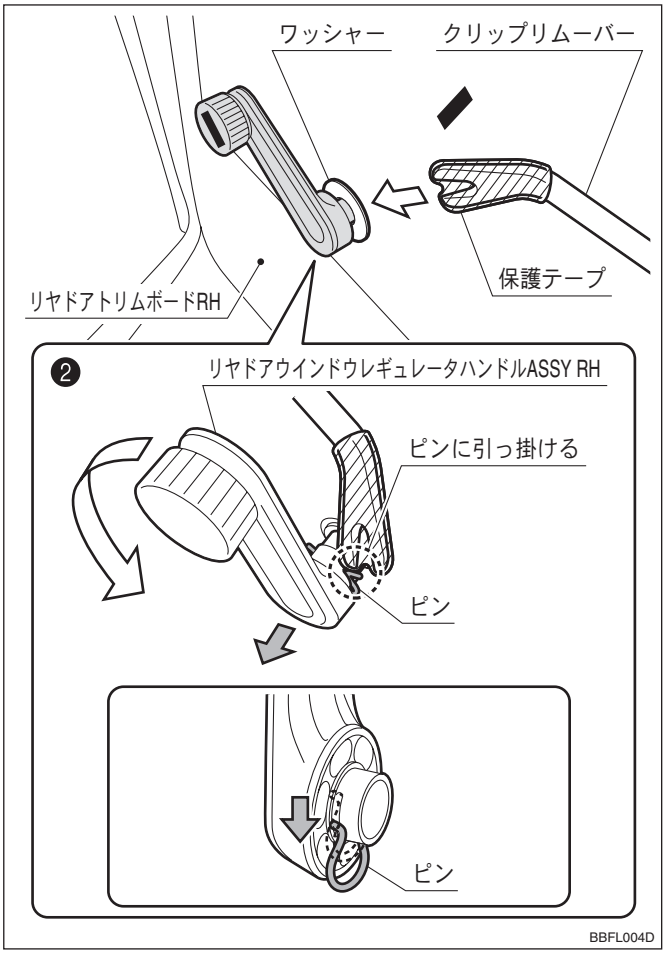
取り付け完了後は

●車両部品は確実に復元



車両部品の取りはずし要領





取り付け前の準備

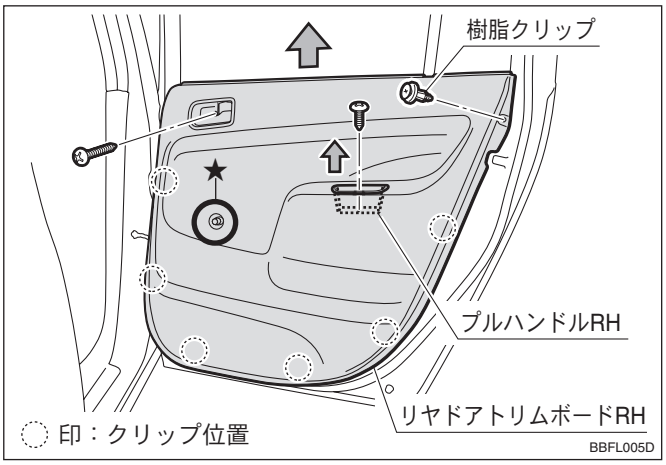
1. リヤドアガラス、リヤドアクォータガラス、クォータガラス、各 RH・LH とバックドアガラスの車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉める。
3. バックドアを開ける。
4. バッテリーの（−）側ケーブルをはずす。

リヤドアトリムボードの取りはずし（図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。）

アドバイス

図はリヤドアウインドウレギュレータハンドル装着車を示します。パワーウインドウスイッチ装着車は、P.4 の 9. から作業を進めてください。

1. ❶ に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH の回転する範囲（斜線部）に保護テープを貼る。
2. リヤドアガラス RH が完全に閉まっていることを確認する。
3. ❶ に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH 及びリヤドアトリムボード RH にビニールテープで復元時の位置決め印を付ける。
4. クリップリムーバーに保護テープを巻く。
5. リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH とワッシャーの間に、クリップリムーバーを差し込む。
6. ❷ に従い、クリップリムーバーの先端をピンに引っ掛ける。
7. ❷ に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH を矢印方向（白矢印）に回し、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH からピンをはずす。
8. ❷ に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH を矢印方向（網矢印）に取りはずす。

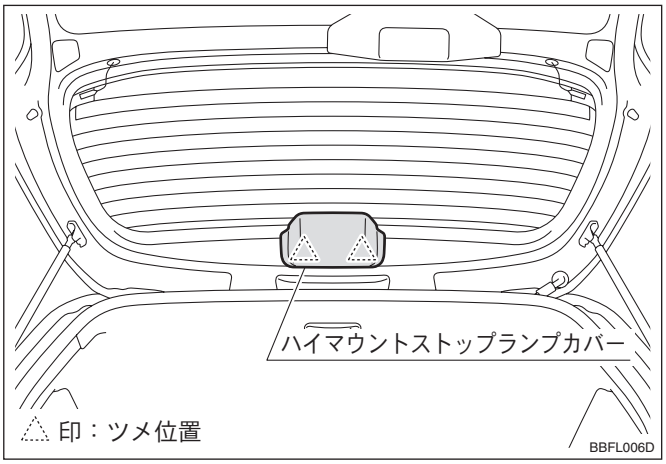


9. スクリュー（2 本）及び樹脂クリップ（1 個）をはずす。
10. プルハンドル RH を矢印方向に取りはずす。

アドバイス

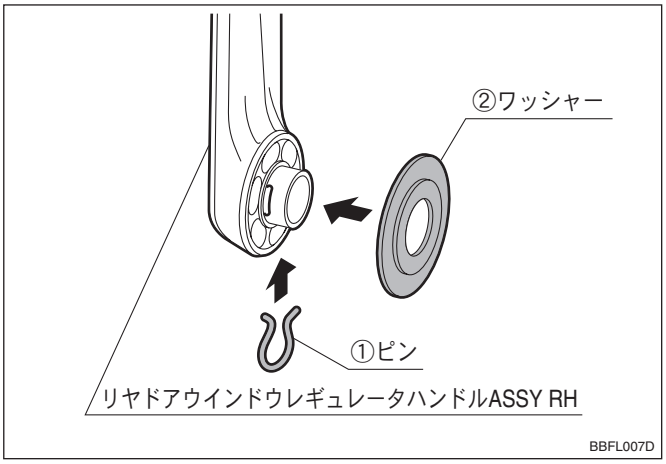
★箇所は、リヤドアウインドウレギュレータハンドル装着車とパワーウインドウスイッチ装着車で、形状が異なります。

11. クリップ（6 箇所）の嵌合をはずし、リヤドアトリムボード RH を矢印方向に取りはずす。



ハイマウントストップランプカバーの取りはずし

ツメ（2 箇所）の嵌合をはずし、ハイマウントストップランプカバーを取りはずす。



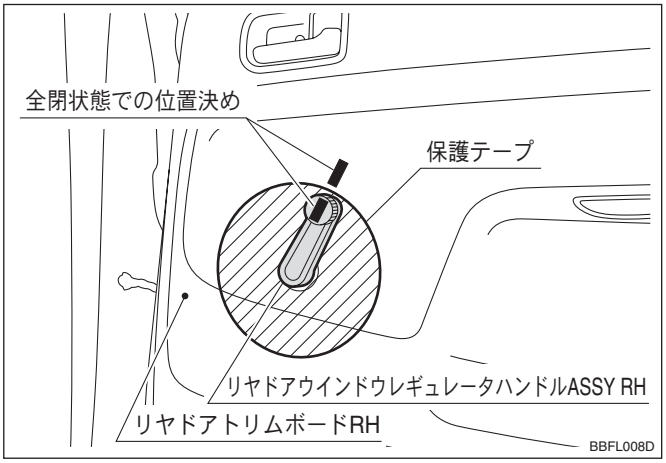
リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH の復元方法

（図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。）

1. リヤドアガラス RH が完全に閉まっていることを確認する。
2. 図に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH に、①ピン→ ②ワッシャーの順で取り付ける。

注意

ピンを復元する際は、向きに注意して取り付けてください。

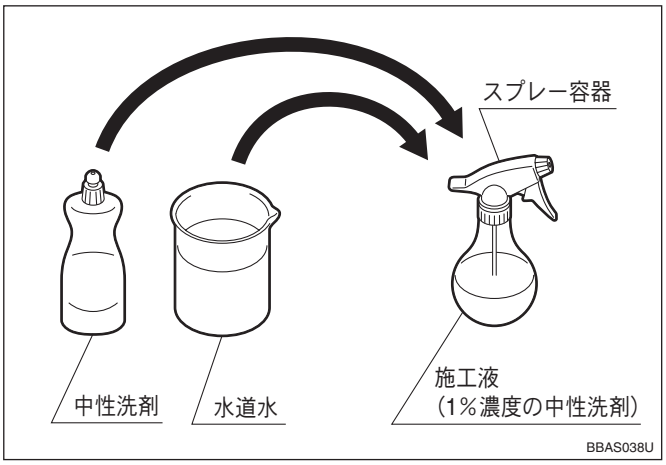


3. 図に従い、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH を取り付ける。

注意

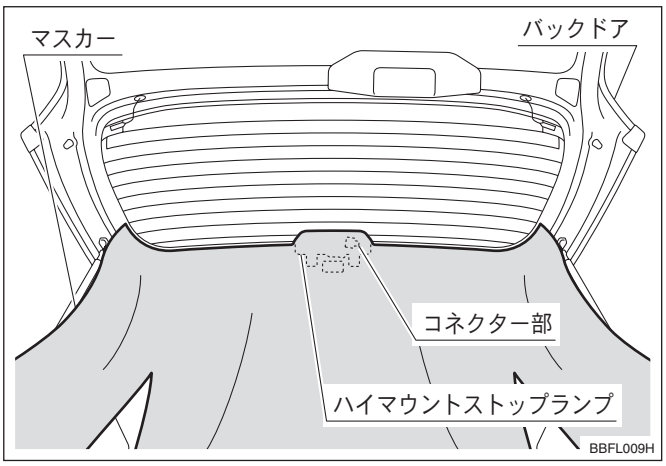
復元の際は、リヤドアガラス RH が完全に閉まっていることを確認し、リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH 及びドアトリムの位置決め印が合うように取り付けてください。

取付作業



施工液の準備

中性洗剤を水道水で 1%濃度に薄める。

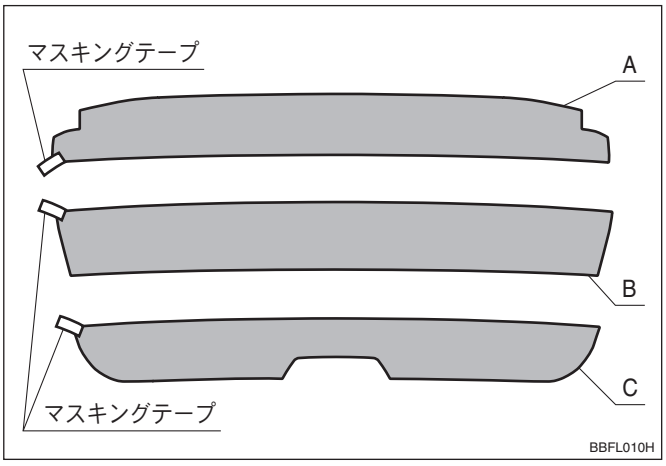


バックドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備

施工液が車室内に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でハイマウントストップランプ（コネクター部）及びバックドア下部を覆う。

注意

ハイマウントストップランプ（コネクター部）は、確実にマスカー等で覆ってください。

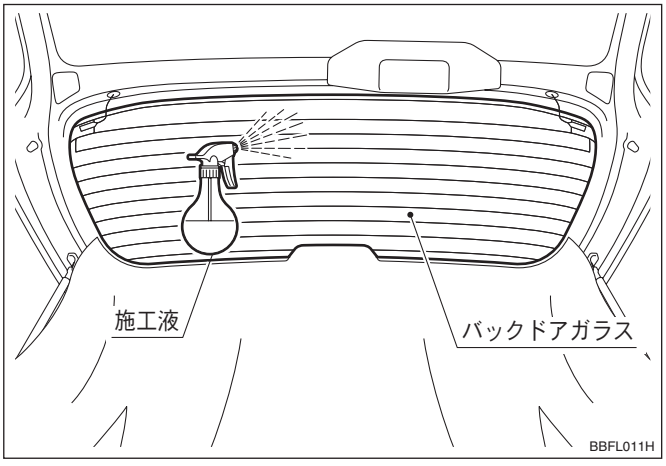


バックドアウインドウフィルムの取り付け

1. バックドアウインドウフィルムの A、B、C を区別する。
2. バックドアウインドウフィルム A、B、C 角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

アドバイス

フィルム A から取り付けます。

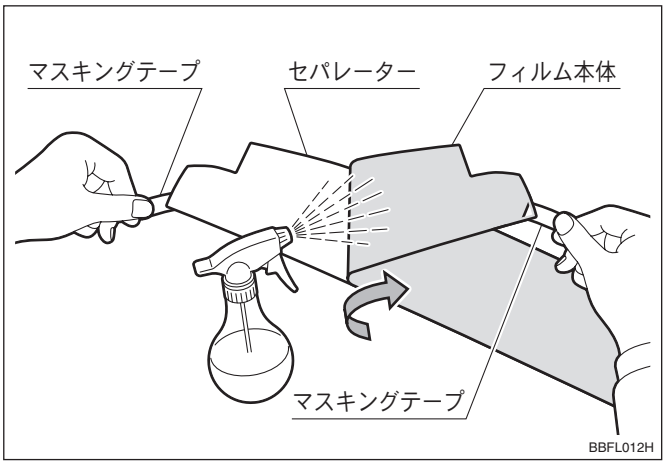


3. バックドアガラス室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

(1) 施工液が車室内に垂れても大丈夫なように、ビニールシート等でカバーをしてください。
(2) フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

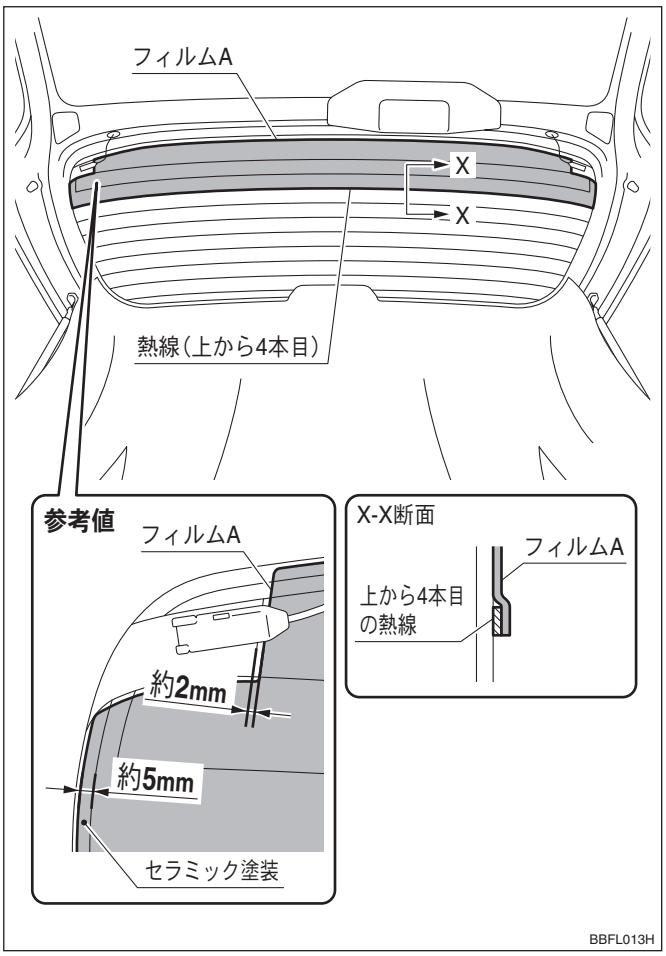
4. バックドアガラス室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



5. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。
(2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



6. 左図 X-X 断面に従い、フィルム A の下端を上から 4 本目の熱線下端部に合わせ、バックドアガラスに左右均等に取り付ける。

アドバイス

図中の参考値は、あくまでも目安です。
フィルム A の下端が、上から 4 本目の熱線下端部に合うことを優先してください。

7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

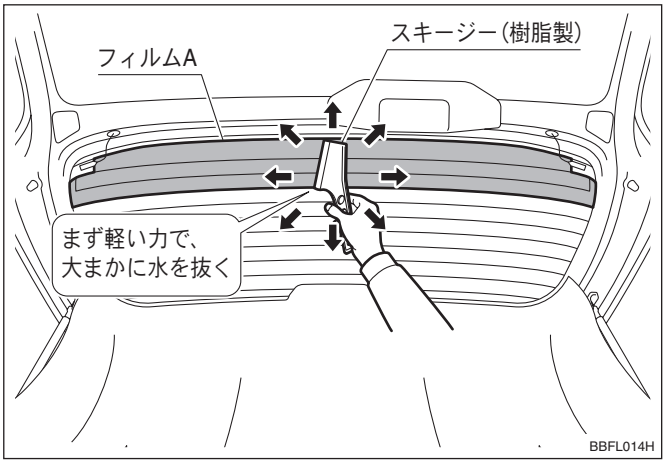
アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

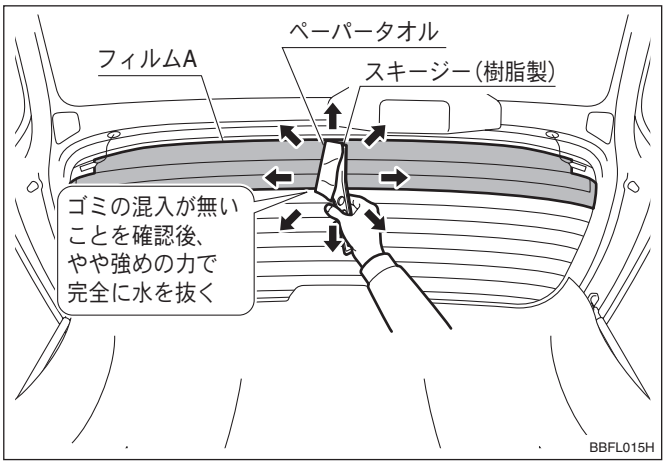


9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

10. フィルム A の左右と上端がセラミック塗装と重なっていること、及びフィルム A 下端が 4 本目の熱線下端部に合っていることを確認する。

アドバイス

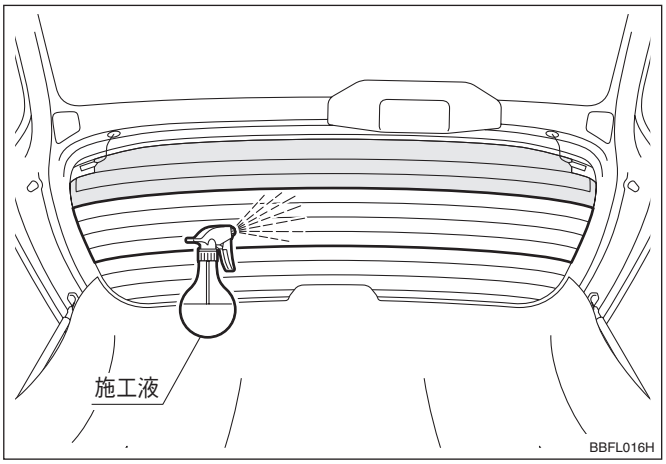
フィルム A が左右均等であることを、スケール等で確認してください。



11. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

12. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

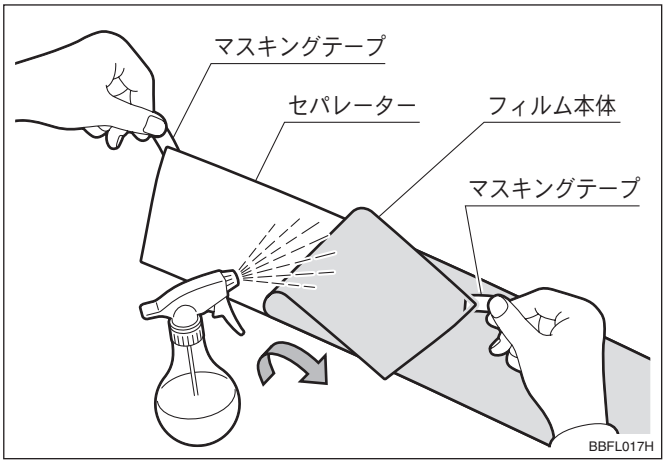
アドバイス
フィルムがずれないよう、作業をしてください。



13. 取り付けたフィルム A より下のバックドアガラス室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

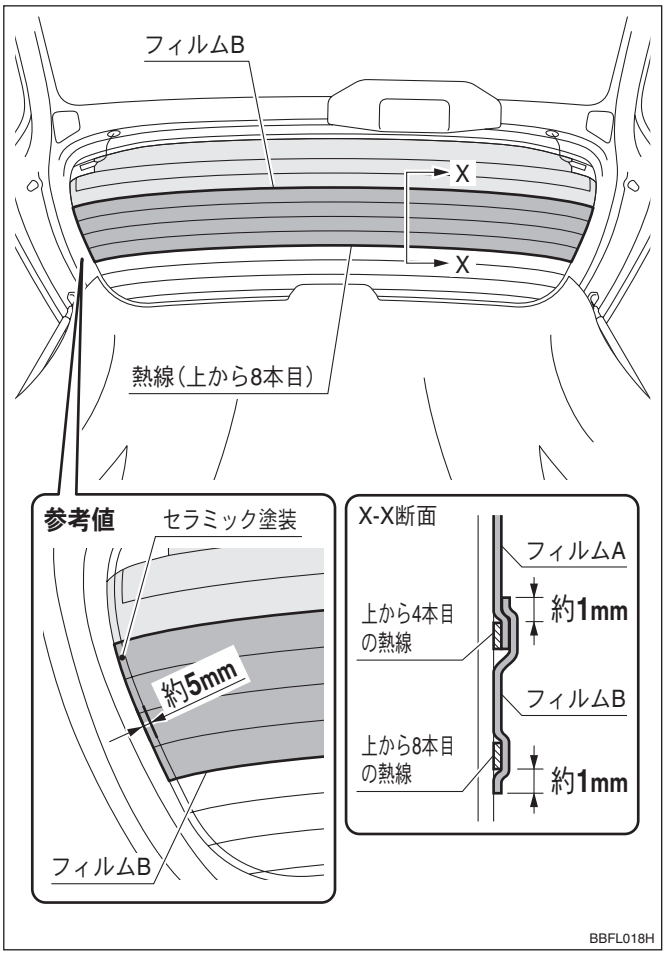
アドバイス
フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

14. フィルム A より下のバックドアガラス室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



15. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス
(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。 (2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



16. 左図 X-X 断面に従い、フィルム B の末端を上から 4 本目の熱線上端部から約 1mm、及び上から 8 本目の熱線下端部から約 1mm に合わせ、フィルム B を左右均等に取り付ける。

アドバイス

図中の参考値は、あくまでも目安です。
上から 4 本目の熱線上端部からフィルム B 上端の幅と、上から 8 本目の熱線下端部からフィルム B 下端の幅が**均等**になることを優先してください。

17. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

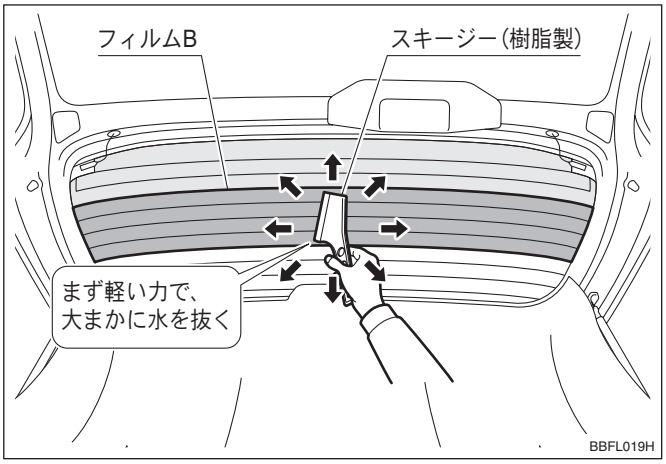
アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

18. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

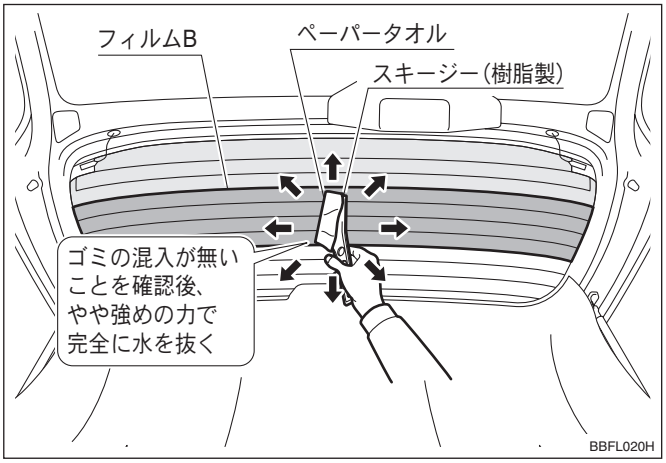


19. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

20. フィルム B の左右がセラミック塗装と重なっていること、及び上から 4 本目の熱線上端部からフィルム B 上端部の幅と、上から 8 本目の熱線下端部からフィルム B 下端部の幅が均等になっていることを確認する。

アドバイス

フィルム B が左右均等であることを、スケール等で確認してください。

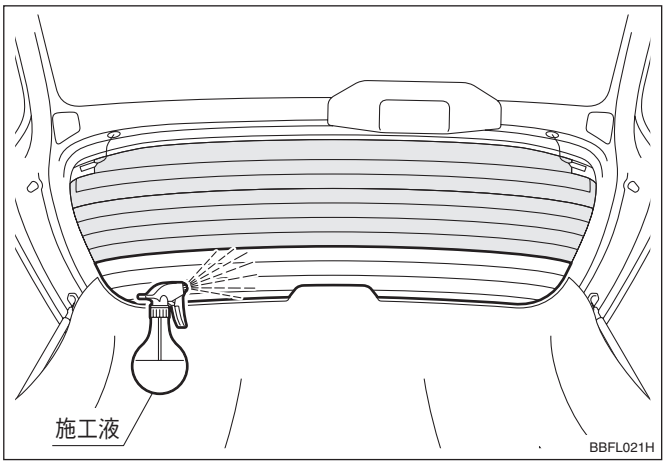


21. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

22. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

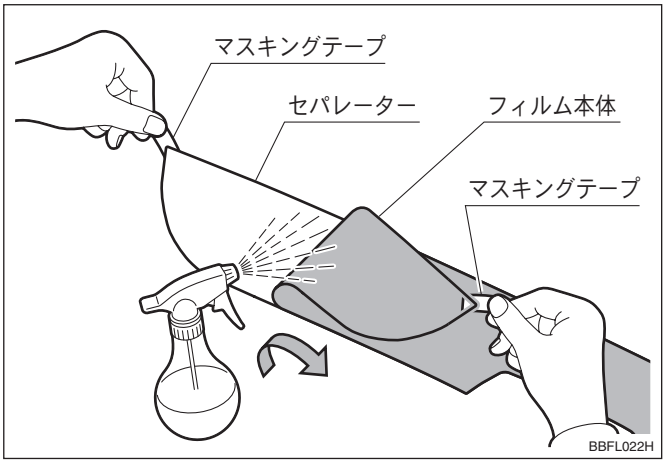


23. 取り付けたフィルム B より下のバックドアガラス室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

24. フィルム B より下のバックドアガラス室内側全面に、再度施工液をスプレーする。

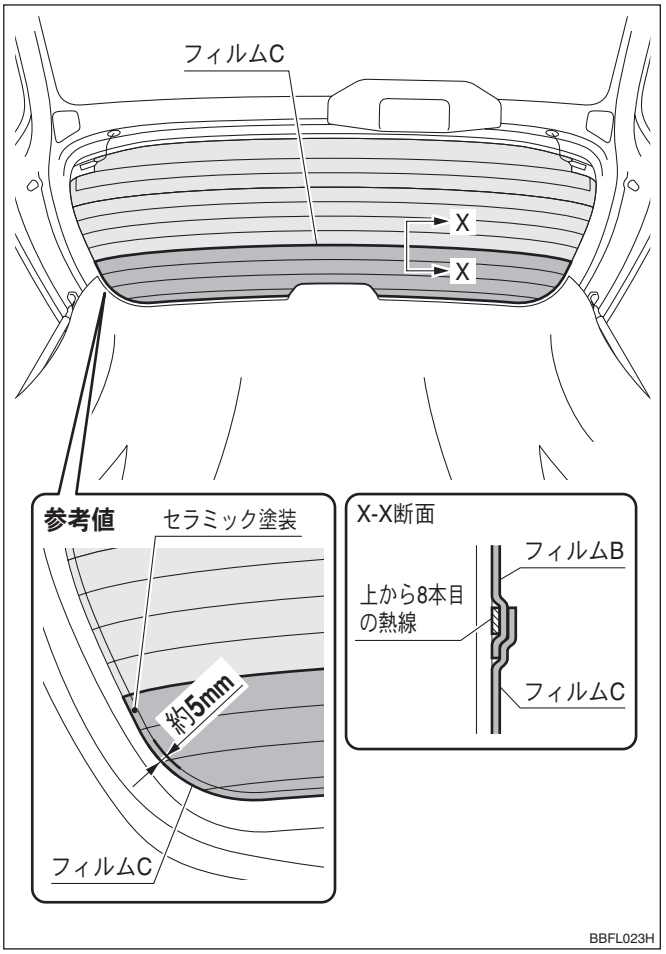


25. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。

(2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。

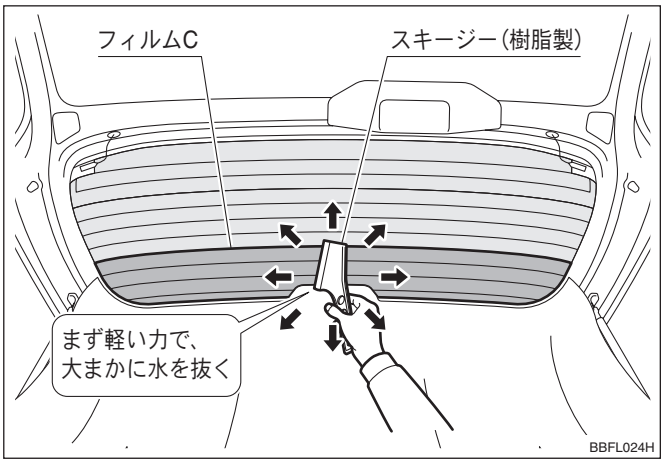


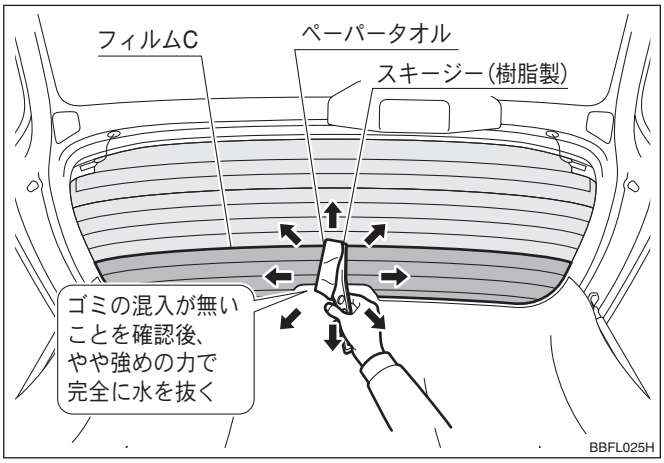
26. 左図 X-X 断面に従い、フィルム C の上端を上から 8 本目の熱線上端部に合わせ、フィルム C を左右均等に取り付ける。

アドバイス

(1) 図中の参考値は、あくまでも目安です。

(2) フィルム C の上端が 8 本目の熱線上端部に合うことを優先してください。





27. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

28. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

29. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

30. フィルム C の左右と下端がセラミック塗装と重なっていること、及び上から 8 本目の熱線上端部に合っていることを確認する。

アドバイス

フィルム C が左右均等であることを、スケール等で確認してください。

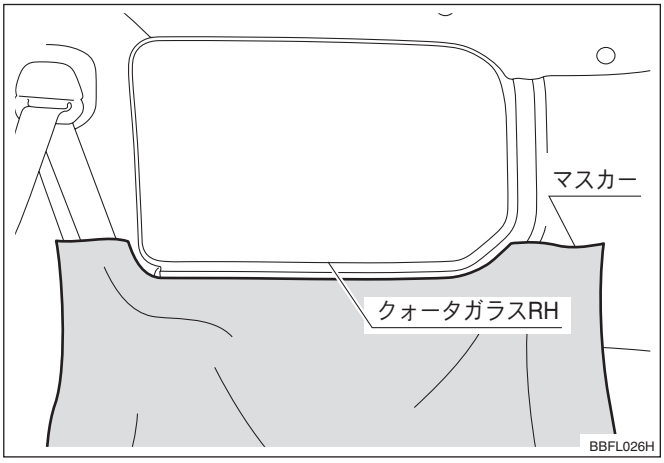
31. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

32. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

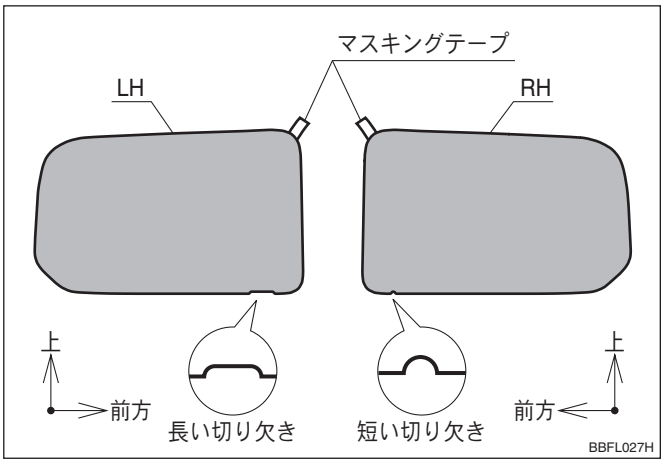
フィルムがずれないよう、作業をしてください。

33. 作業終了後、バックドアに貼り付けたマスカーを取りはずす。



クォータウインドウフィルムの貼り付け前の準備（図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。）

施工液が車室内に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でクォータガラス下部を覆う。



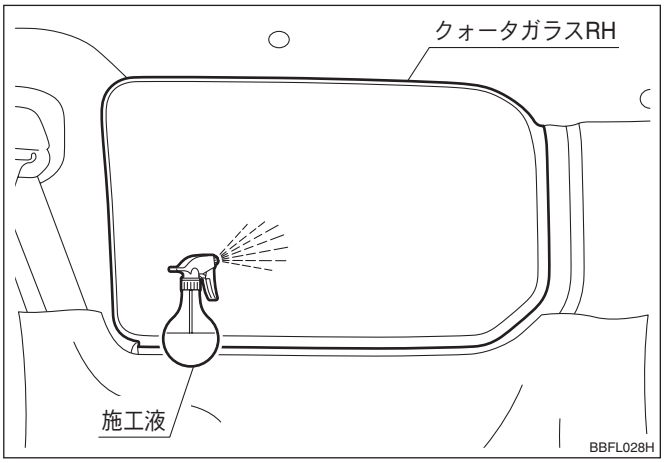
クォータウインドウフィルムの取り付け

1. クォータウインドウフィルムの LH 用と RH 用を区別する。

アドバイス

短い切り欠きがある RH 用から取り付けます。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。



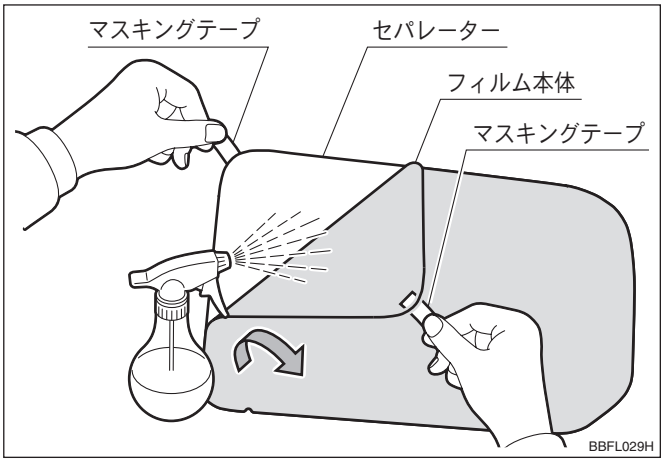
3. クォータガラス RH 室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

(1) 施工液が車室内に垂れても大丈夫なように、ビニールシート等でカバーをしてください。

(2) フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

4. クォータガラス RH 室内側に再度施工液をスプレーする。

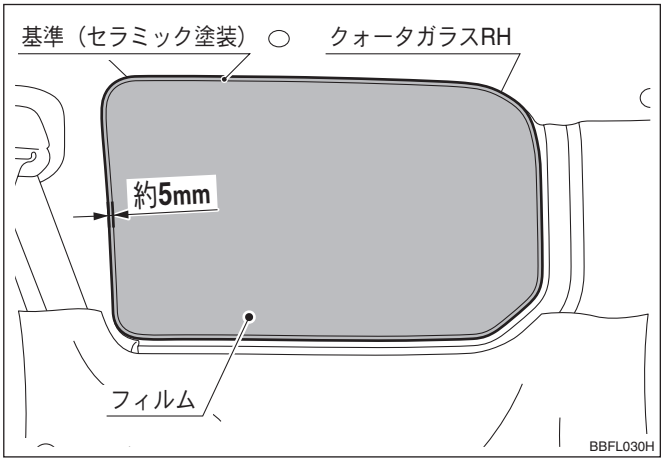


5. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。

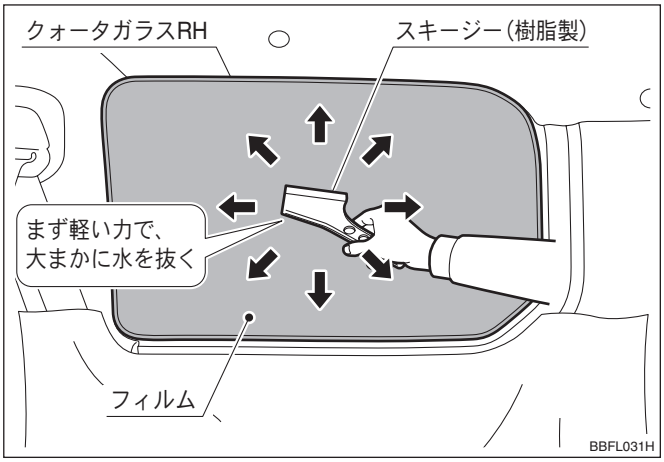
(2) クォータガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。

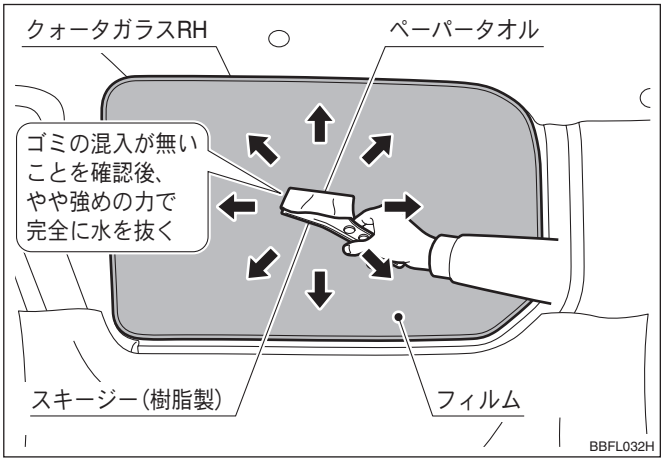


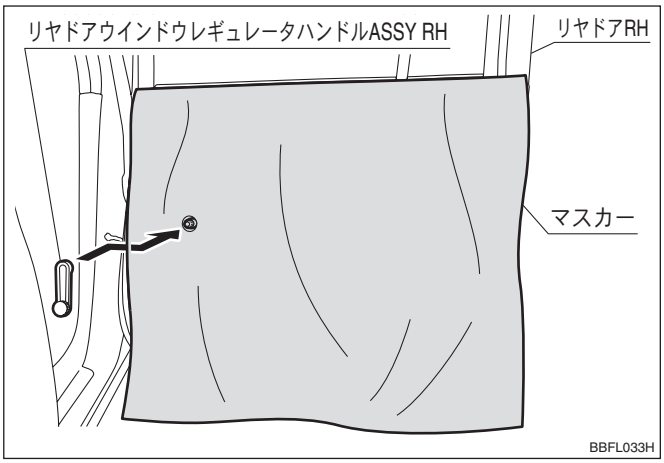
6. クォータウインドウフィルムをクォータガラスに対し、上下左右均等に取り付ける。

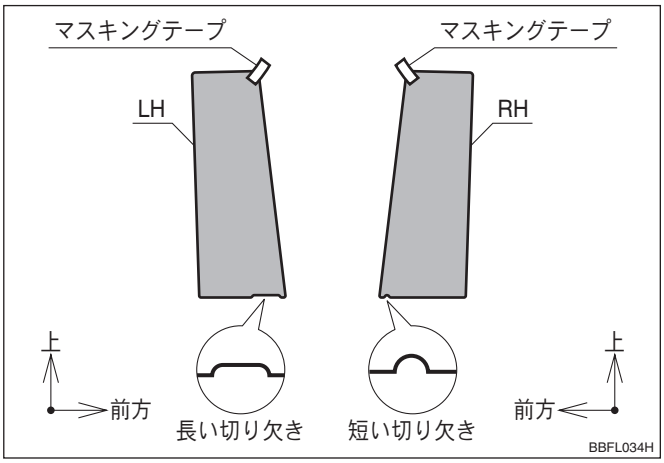
アドバイス

図中の参考値は、あくまでも目安です。
フィルムとガラスのセラミック塗装部をラップさせることを優先してください。









7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

10. フィルムの上下左右がセラミック塗装と重なっていることを確認する。

アドバイス

フィルムが上下左右均等であることを、スケール等で確認してください。

11. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

12. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

13. 作業終了後、クォータガラス RH 下部に貼り付けたマスカーを取りはずす。

14. 同様に、クォータウインドウフィルム LH を取り付ける。

リヤドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備（図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。）

1. リヤドアウインドウレギュレータハンドル ASSY RH を仮復元する。（取り付けの向きに指定はありません。）
2. 施工液がリヤドア RH 内部に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でリヤドア RH を覆う。
3. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 10mm 下げる。

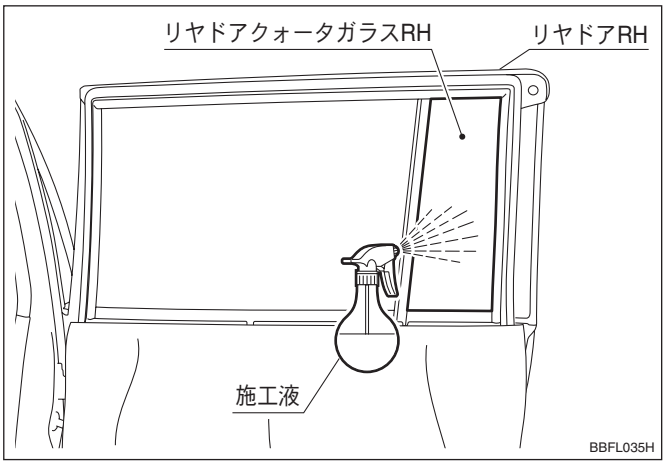
リヤドアウインドウフィルムの取り付け

1. リヤドアウインドウフィルム（小）の LH 用と RH 用を区別する。

アドバイス

（1）短い切り欠きがある RH 用から取り付けます。
（2）切り欠きがある方がフィルムの下端になります。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

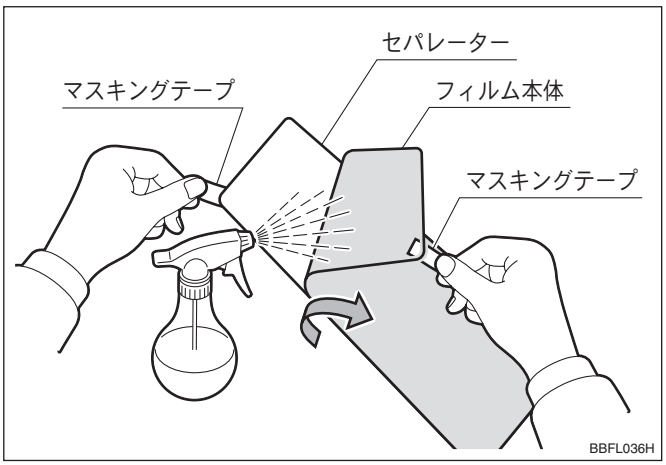


3. リヤドアクォータガラス RH 室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

4. リヤドアクォータガラス RH 室内側に再度施工液をスプレーする。

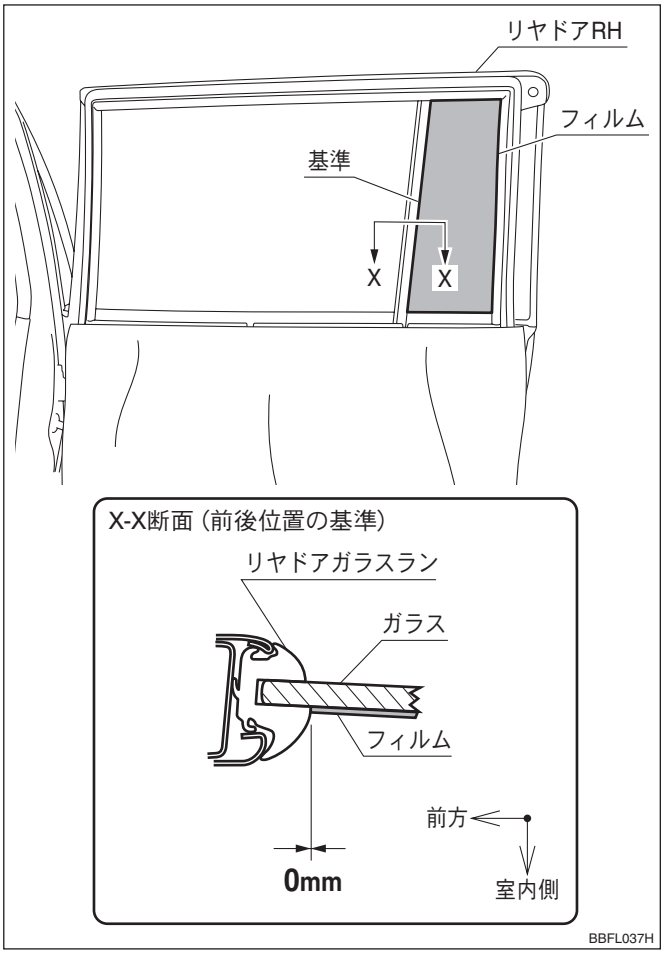


5. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。

(2) リヤドアクォータガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



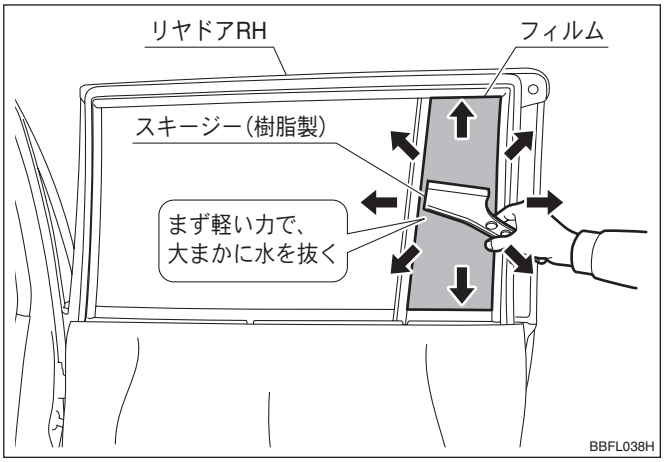
6. 前後の基準となるフィルム前端部（左図 X-X 断面）とウェザーストリップ端部との間隔を均等に 0mm に保ち、フィルム前端角部をウェザーストリップ前方上端に接するまでスライドさせ、取り付ける。

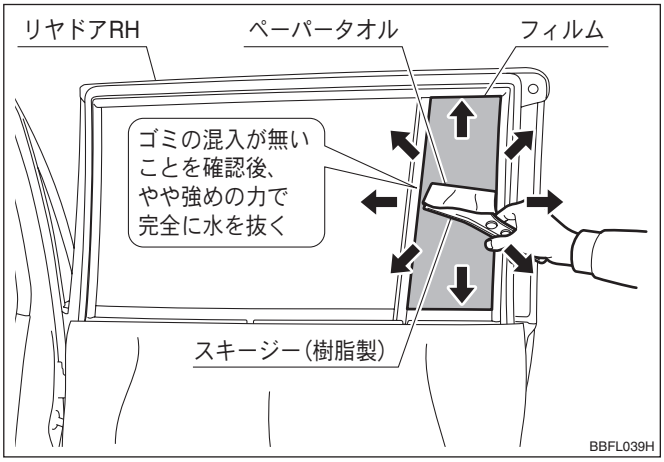
アドバイス

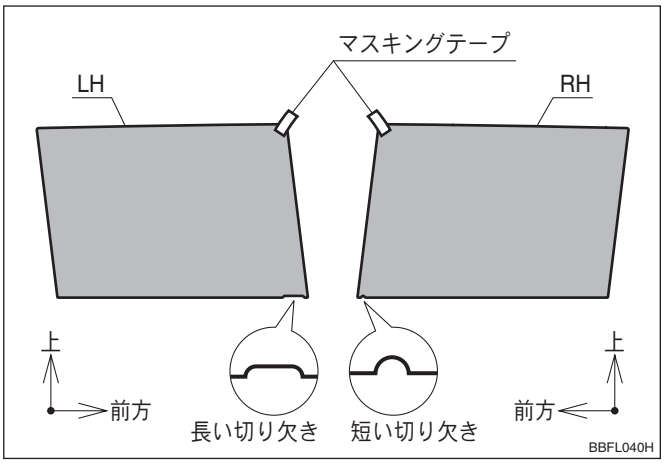
(1) フィルムをウェザーストリップ上端に強く押し当てると、折れの原因になります。

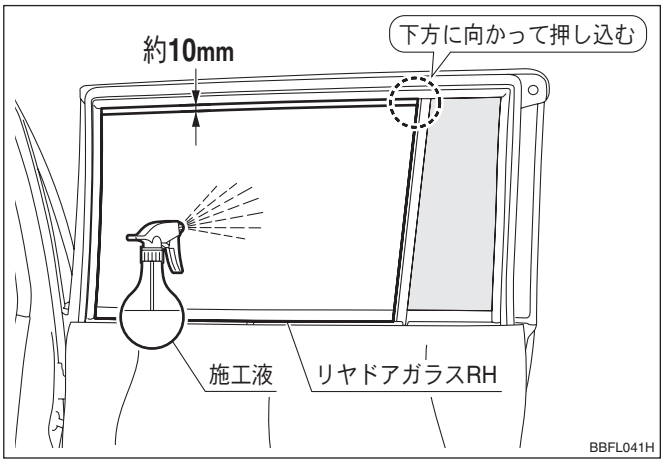
(2) 位置決めの際は、左図 X-X 断面を基準に貼り付けてください。

(3) フィルム上端及び後端にて、ウェザーストリップ端部との隙間が生じることがありますが、気泡や水抜きのための隙間ですので、問題ありません。









7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

10. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

11. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

12. 同様に、リヤドアウインドウフィルム（小）LH を取り付ける。

13. リヤドアウインドウフィルム（大）の LH 用と RH 用を区別する。

アドバイス

(1) 短い切り欠きがある RH 用から取り付けます。

(2) 切り欠きがある方がフィルムの下端になります。

14. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

15. リアドアガラス RH が約 10mm 下がっていることを確認する。

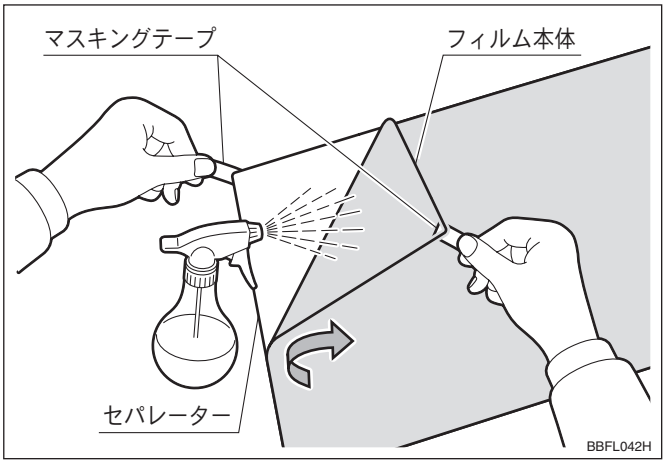
16. リアドアガラス RH 表裏両面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

17. リヤドアガラス RH の内側全面に、再度施工液をスプレーする。

18. リヤドアガラス RH 後方上部を下方に向かって押し込む。

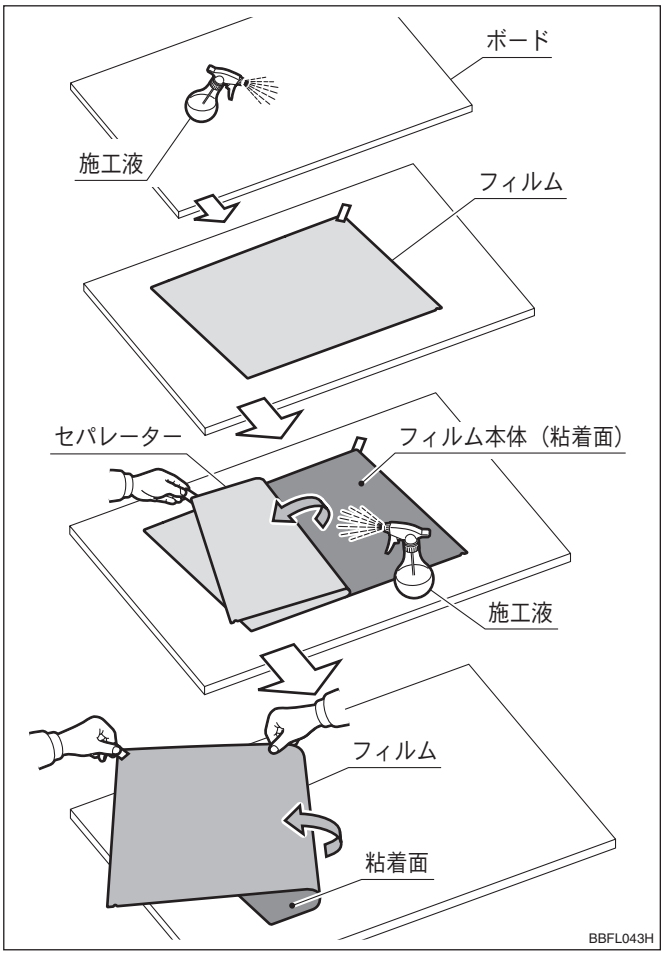


19. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

アドバイス

(1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。

(2) リヤドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

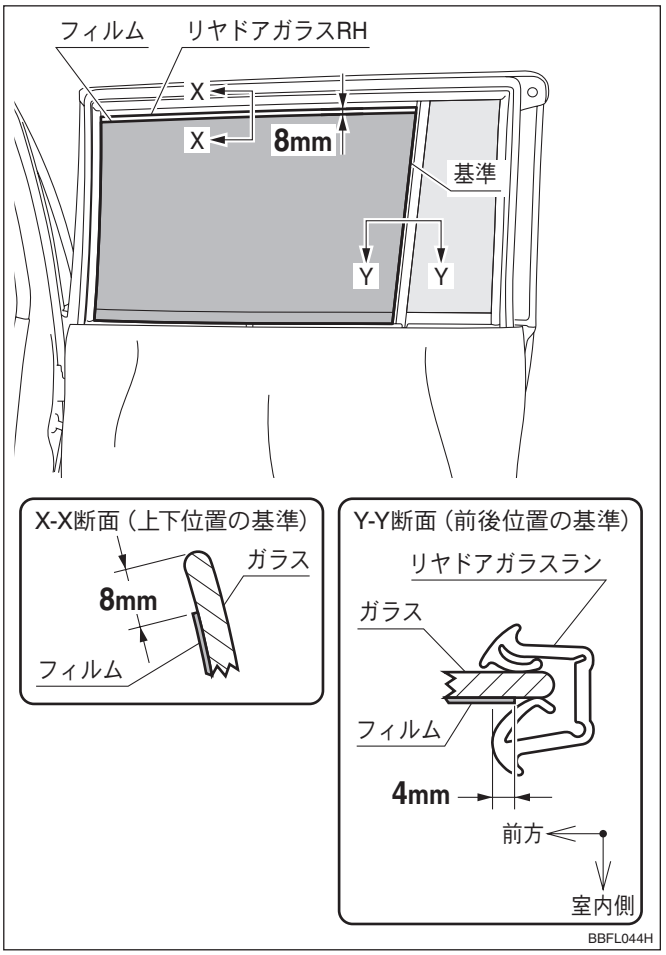
(1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をリヤドア近くに準備します。

(2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウインドウフィルム（大）の本体側を平面部に貼り付けます。

(3) マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。

(4) リヤドアウインドウフィルム（大）の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。

(5) リヤドアウインドウフィルム（大）の粘着面をドアガラスに取り付けます。

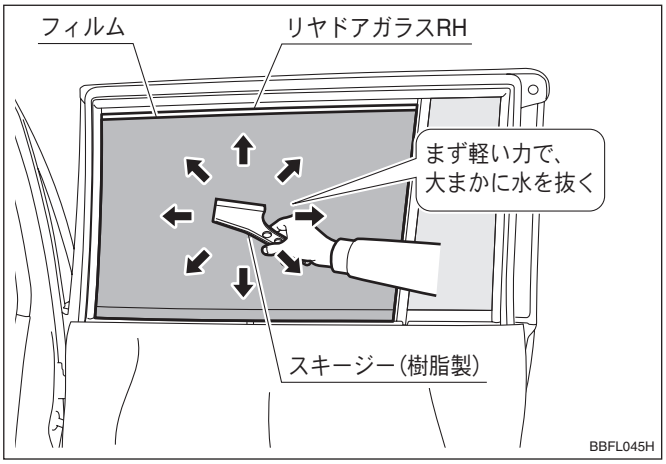


20. ガラス上端からフィルム上端が均等に 8mm（左図 X-X 断面）の位置になるように取り付ける。

アドバイス

ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。

21. ガラス上端とフィルム上端の間隔を 8mm に保ったまま、フィルム後端を左図 Y-Y 断面に従い調整する。



22. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

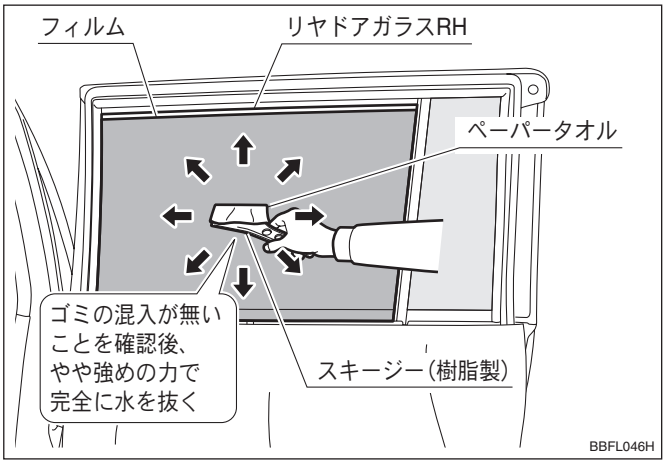
23. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

24. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

25. フィルム上端がガラス上端から 8mm 空いていること、フィルム後端がリアドアガラスラン前端に 4mm 入り込んでいることを確認する。

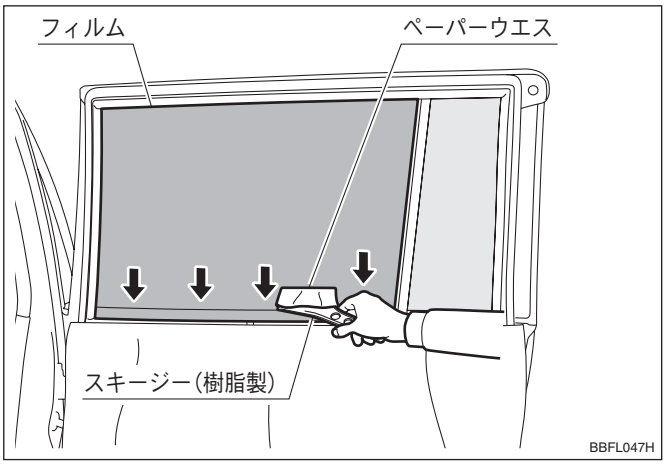


26. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

27. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。



28. リヤドアガラス RH を一番上まで上げる。
29. 吸水性のウエス等を巻いたスキージー（樹脂製）でフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。
30. 作業終了後、リアドア RH に貼り付けたマスカーを取りはずす。
31. 同様に、リヤドアウインドウフィルム LH（大）を取り付ける。

復元作業

・付着した施工液をふき取ってください。
・取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

注意

（1）復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。
（2）フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、ドアガラスの昇降を避けてください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷を付けていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウインドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。